

議員発議

新型コロナウイルス感染症に関わる対策についての決議

3月定例会最終日(3月19日)、市議会は、「新型コロナウイルス感染症に関わる対策についての決議」を採択し、新型コロナウイルスの感染が拡大するなか、感染症から市民の生命や健康を守るとともに、観光に依存する高山市においても、入り込み客数の激減により市内経済は著しく低迷し、その回復の見込みが立っていない状況下において、議会の意見を表明し、その対応を市に求めました。

内容は下記のとおりです。



- 1 新型コロナウイルス感染症から市民の生命と健康を守るため、国、県、他自治体、事業者、医療機関と連携するなかで、万全の対応に全力を尽くすこと。
- 2 被雇用者の生活危機及び事業者の経営危機に対応するため、国の緊急つなぎ融資などと併せ、地元金融機関と連携するなかで、あらゆる資源を投入し、きめ細かな対策を講じること。

※決議は、議会の意思を対外的に表明することが必要である場合に行うものです。

3月定例会

一般質問

3月定例会では15人の議員が市政に対する一般質問を行いました。



一般質問とは、議員が高山市政全般にわたり、事務執行の状況及び将来に対する方針などについて所信を質すとともに、報告、説明を求め疑問を質すものです。

■今号から、QRコードから各議員の一般質問をご覧いただけます。配信は会議録が調製され次第終了します。(タブレット・スマートフォンにも対応。通信料は別途発生します。)

施策・事業の執行の 住民との合意形成

創政・改革クラブ
谷村 昭次



問 施策や事業の執行では市民の積極的な賛成はなくても、積極的に反対する人がいない状況に至ることが必要である。反対者を少なくする努力体制や姿勢があるのか。そして、反対理由を細やかに検証し内容を公開する仕組みと市民の理解と協力は行政の決定よりも優先されるべきものではないか。

答 住民合意では対話などを丁寧に積み重ねた結果として全ての方に賛成してもらえることが望ましく、わかりやすい話し合いのもとで反対者がいなくなる、あるいは反対する方が少なくなるように努めることが必要と考えている。

